



まがたま

第 83 号 平成 27 年 9 月 9 日

練馬区立豊玉中学校

〒176-0014 練馬区豊玉南 2-1-20
tel 03(3994)1451 fax 03(5984)2461

E-mail

info@toyotama-j.nerima-tyky.ed.jp

URL

<http://www.toyotama-j.nerima-tyky.ed.jp>

実りの秋、豊中生への期待！

校長 いだ むねひろ 井田 宗宏

猛暑、大雨、落雷、これほど激しく気候が変化する夏休みが今までにあったでしょうか。日本列島全体が、本当に溶けるような暑さでした。9月1日、全校集会にはすっかり日焼けした顔で、心身共に一層たくましく成長し、自信にあふれた生徒の姿に接し、心から安心しました。

気象庁は、一昨年度から「一生に一度程度しか出合わない危険が差し迫った時」安全の確保を強く促す「特別警報」の運用を始めました。この夏、「特別警報」に基づき、各自治体が住民に危険を伝達する場面が何度も発生しました。「特別警報」が出る前から避難やその準備を始め、万全を期すことが大切になります。秋の台風シーズン到来です。正しい情報に基づき行動したいものです。

この夏休み、本校の出来事を振り返ってみます。1年生は、8月中旬に岩井臨海学校に行ってきました。天候にも恵まれ、予定どおりの日程をこなすことができました。三日目の大遠泳では、参加した全員の生徒が見事に泳ぎ切ることができました。宿舎内の生活も、一人一人が細かなところにまで気を遣い、宿舎の方からお褒めのお言葉をいただきました。

部活動では、関東大会に出場したり、都大会でも優秀な結果を残すなど、豊中生としての本領を発揮しました。日頃からの地道な努力の積み重ねが結果に繋がったものと思います。また、練馬区中学生海外派遣では、二人の生徒が本校を代表して参加しました。解団式では、オーストラリアでの生活について、報告がありました。苦労は多かったようですが、とても充実した体験をすることができました。このように、本校の生徒たちは、厳しい暑さにも負けず、チャレンジングな取組を続けてきました。

さて実りの秋、この時期には「①授業に心から打ち込む生徒になること。②学習発表会などの学校行事に団結力を発揮できる生徒になること。③目標をしっかりと定め、日々ステップアップし、突き進む生徒になること。」などをこれからも生徒の皆さんに期待を込めて訴え続けていきたいと思っています。

今後のことに目を向けます。秋はスポーツに、読書に絶好の季節です。3年生は、今月末、修学旅行に出かけてきます。中学校生活最後の宿泊行事として、夏休み前から本格的に準備を進めてきましたが、一人一人の力で日本の古都、奈良・京都をステージにすばらしい思い出を作り上げてきてほしいものです。班行動、宿舎内の生活等、これまでの宿泊行事の総仕上げにふさわしい内容になることを期待しています。

次に、11月1日に開催される学習発表会では、これまで本校が培ってきた伝統の上に、学級、学年、全校が一丸となり、思う存分、力を発揮してほしいと思います。生徒自身が熱中して、自己を表現できる文化的行事だと考えています。一つのことを学校全体でとりくむことは大変なエネルギーが必要です。でも今の豊玉中なら、十分にそれをやりこなす力があると確信しています。

最後に、先日、3年生対象の全国学力・学習状況調査と2年生対象の東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果が戻ってきました。観点別では、「読み解く力に関する内容」のうち、「取り出す力」や「読み取る力」は平均的ですが、「解決する力」については、高い値を出している教科が見受けられます。詳細につきましては、今後、学校のホームページに掲載していく予定です。本校の生徒の実態を分析して、学力向上、授業改善に繋げてまいります。何とぞよろしくお願いたします。

祝 完泳！ 岩井臨海学校 8月11日（火）～8月14日（金）

一年生にとって、中学校生活最初の宿泊行事が臨海学校です。8月3日（月）～7日（金）の五日間の水泳練習を通して、日焼けとともに、身体も心も成長していく様子が見られました。8月11日（火）の朝、そわそわと落ち着かない様子で集まってきた一年生。時間が守れず、これからの生活が心配されました。しかし、ベルデ岩井の職員の方々からは、「これまでで、一番素晴らしい生徒です...。」とお褒めの言葉をいただきました。その証拠に、宿舍のスリッパが常に整えられ、様々な場面で時間が守られていました。何よりも、全員で遠泳に挑み、全員が完泳することができたことは、大きな自信を得るとともに、仲間と喜びや感動を分かち合うことにつながりました。これも、多くの方々の支えがあったからです。9月1日（火）夏休み明けの全校集会の後、一年生のみで行われた集会の場で、学年主任の津田先生から「君たちは、素晴らしい...。」というお話がありました。この夏の最高の思い出です。これからの更なる成長を願っています。（第一学年教職員）



■ 「生徒会役員選挙に向けて」

選挙管理委員長 3年B組 西村 希弥

前期生徒総会において、生徒会長が、全校生徒に向けて「豊玉中学校の生徒である自覚を持つこと。委員会活動について理解し、協力する心を持つこと。これらをねらいとした身のある生徒総会にしましょう。」という話がありました。私は、ひとり一人が生徒会員として「自覚と責任」を持つことが大切だと思います。これからは、二年生がリーダーです。立候補者は、公平な立場に立ち、生徒全員が互いに理解し合える素晴らしい生徒会を目指してください。選挙は、10月5日（月）に行われます。皆様のご協力をお願いします。

■ 「11月1日（日）の学習発表会に向けて」

学習発表会実行委員長 3年B組 天野 里紗

豊玉中学校の学習発表会は、大きく舞台部門と展示部門に分かれています。舞台部門では、ステージで演技する生徒、裏方に徹する生徒がいます。どちらも大切です。そして、展示部門は、全生徒が「自分」という役割を担い「主役」を努めます。それぞれの個性を発揮する場が学習発表会だと私は考えます。みんなで協力し、全員の心が刻まれる学習発表会をつくりあげましょう。

■ 「海外派遣の成果」

海外派遣生徒 3年B組 金子 祐輔

僕が、海外派遣を通して得た最大の成果は、言葉以外のコミュニケーション（身振りや手ぶり、マナーやルールなど）がとても大切だということを経験から学ぶことができたということです。語学力を身に付けることも大切ですが、人として、どのようなマナーやルールを身に付けることが大事かを考えることができました。

■ 「海外派遣生として異文化に触れて」

海外派遣生徒 2年A組 高橋 英梨夏

私は、海外派遣生として「異文化」に触れ、「言葉は通じなくても、心は通じることができる」ということを肌を通して感じることができました。喜びを伝えるには、言葉以上に態度や表情が大事です。人と人をつなぐものは「心」なのです。今、ホストファミリーをはじめ、お世話になった方々へ感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

